

絶滅危惧類 スギナモ科

スギナモ

Hippuris vulgaris L.

【選定根拠】 尾瀬ヶ原と尾瀬沼にのみ生育している。 全ての生育地で生育条件が悪化

【形態】 抽水または沈水性の水生植物。草長30～70cm。茎の各節に線形の葉が6～12枚輪生する。気中葉は長さは1～1.5cm、沈水葉は長さ2～5cmで膜質。6～8月、葉腋に紅色の小花をつける。花はがく筒が花冠状となったもので、本来の花冠は無い。雌蕊1本と雄蕊1本のみある。多年草。

【分布】 北海道・本州中部以北、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、グリーンランド、オーストラリアに分布する。

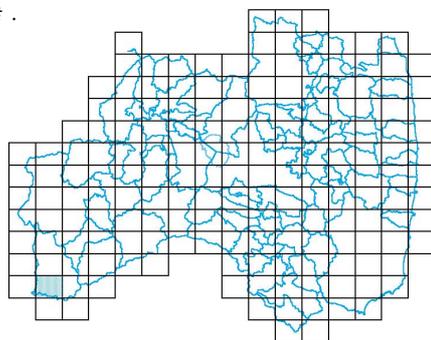
【県内の分布、生育状況】 天然の湖沼に生育する。本県では尾瀬のみに分布している。尾瀬では沈水状態で生育している場合が多い。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限、他種(コカナダモ)との競合

【特記事項】 寒地清水性の植物なので、水温と水質管理が重要。尾瀬沼では、コカナダモの除去が必要である。また、魚類の放流は本種の生存に悪影響を及ぼす。

【主要文献】

福島県植物誌編さん委員会．1987．福島県植物誌．481pp．福島県植物誌編さん委員会．いわき．



絶滅危惧類 ウコギ科

ミヤマウド

Aralia glabra Matsum.

【選定根拠】 全ての生育地で生育条件が悪化

【形態】 ウドに似た80～100cmの多年草。茎は細長く無毛で、葉柄とともに紅紫色。葉は2～3回出羽状複葉、小葉は質薄くまばらな毛がある。散形花序はまばらな円錐花序状で花数は少ない。花期は6～8月、花弁は帯紫緑色。腋果は球形、黒紫色、径3mm。

【分布】 本州(福島・関東・中部)に分布する。

【県内の分布、生育状況】 主に会津の深山の亜高山帯の谷陰。本県が北限。

【生育に影響を与えている要因】 森林伐採

【特記事項】 森林を含む生育地の環境を保全することが望ましい。

